

戦後ドイツの映画ポスター

Postwar German Posters for Films

京都国立近代美術館 コレクションギャラリー(4階)

2017年4月19日(水) - 6月11日(日)



主催：京都国立近代美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター

後援：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

協力：ドイツ映画研究所 (DIF)、サントリーホールディングス株式会社、Goethe-Institut/ドイツ文化センター

東西統一から四半世紀——“壁”の両側のグラフィックをたどる

第二次世界大戦の終結後、政治対立により東西二つに分断されたドイツは、1990年に統一されるまでの間、冷戦の最前線にあって映画界も別々の道を歩むことになりました。西ドイツでは映画製作が息を吹き返すとともにアメリカや西欧の映画が盛んに輸入され、東ドイツでは国营会社 DEFA によって独自の社会主義的な映画文化が育まれました。

そうした映画文化の分岐は、映画のポスターにも及びました。西ドイツでは、アート・フィルムを配給する会社がハンス・ヒルマン、フィッシャー＝ノスビッシュ夫妻ら新世代のグラフィック・デザイナーを積極的に起用し、時に大胆なタイポグラフィに訴えた鮮烈なポスターが制作されました。一方で東ドイツでは、DEFA の采配のもと、エアハルト・グリュットナーやオットー・クンメルトラが、内省的な、しかし宣伝美術の枠に囚われない自在な表現を生み出します。

この展覧会では、フィルムセンターと京都国立近代美術館の共催により、1950年代後半から1990年までに制作された85点(西ドイツ45点+東ドイツ40点)の映画ポスターを通じて、“鉄のカーテン”の両脇で花開いた二つのグラフィズムを紹介します。

展覧会の内容

西ドイツの映画ポスター

第二次大戦後の西ドイツの映画状況を特徴づけたのは、アメリカ映画の大量流入と自国の娯楽映画の復活でした。そのことは映画業界を商業的に活気づけましたが、その中から国内外で製作されたアート志向の映画を主に配給する会社が現れました。そうした野心的な会社は、映画ポスターの制作を「カッセル派」の若手グラフィック・デザイナーに依頼し、先鋭的なデザインを実現させました。通俗的な商業的映画ポスターが主流を占める中、このような芸術的映画ポスターは、それを支えた配給会社が力を失う1970年代中期まで盛んに作られました。



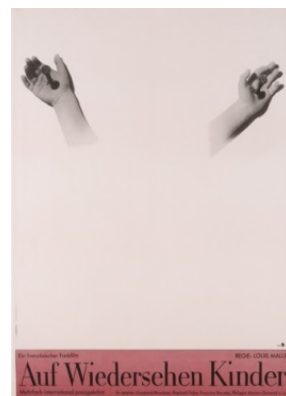
⑦



⑧



⑨



⑩

東ドイツの映画ポスター

東ドイツでは、1949年の国家成立以降、DEFAが、社会主義体制のもとで映画製作に取り組むようになり、1950年にはプロGRESS社が国内での映画配給を一手に担うことになりました。1960年代以降、エアハルト・グリュットナーなど新世代のデザイナーの登場により、徐々に活況を呈するようになりました。文化的表現への国家統制が存在する一方、商業的制約の欠如からデザイン上の自由が保証されたことで、1970年代からイラストレーション志向が強い注目すべきポスターがドイツ統一までの間、数多く生み出されました。

■京都国立近代美術館とフィルムセンターの共催により、1950年代後半から1990年までに制作された85点（西ドイツ45点+東ドイツ40点）の映画ポスターを紹介します。

■全出品作を収録した図録も作成。会場でお買い求めいただけます。

関連イベント

※詳細はホームページ等でお知らせいたします。

◆4月23日(日) ライブイベント

「Andi Otto “VIA” Japan Tour 2017 night cruising @ MoMAK」

出演：Andi Otto (ミュージシャン／プロデューサー／チェロ奏者)、MD Pallavi (シンガー)

会場：京都国立近代美術館 1階エントランスホール

時間：18:00～19:30 (開場 17:30)

料金：前売券 1,500円、当日券 2,000円

※ご予約・お問い合わせ：info@nightcruising.jp (night cruising)

◆5月12日(金)～5月14日(日) 映画上映会 MoMAK Films

「特集上映：DEFA70周年 知られざる東ドイツ映画」

会場：京都国立近代美術館 1階講堂

料金：1プログラム 520円、当日券のみ、先着 100席

○5月12日(金) 17:30 開場

18:00 - 20:04 『裸で狼の群のなかに』(フランク・バイヤー監督、1963年、124分)

○5月13日(土) 16:00 開場

16:15 - 17:39 『殺人者は我々の中にいる』(ヴォルフガング・シュタウテ監督、1946年、84分)

18:00 - 19:59 『僕は19歳だった』(コンラート・ヴォルフ監督、1968年、119分)

○5月14日(日) 13:30 開場

14:00 - 15:46 『パウルとパウラの伝説』(ハイナー・カーロウ監督、1973年、106分)

16:00 - 17:31 『チンガッハグーケー大蛇と呼ばれた男』(リヒャルト・グロショッブ監督、1967年、91分)

◆5月13日(土) 講演会「壁の向こうのハリウッド」

講師：ラルフ・シェンク氏 (DEFA 財団理事長)

会場：京都国立近代美術館 1階講堂

時間：14:00～15:30

◆5月28日(日) ギャラリートーク

講師：岡田 秀則氏 (東京国立近代美術館フィルムセンター主任研究員)

会場：本展開催場所

時間：第1回目 12:00～13:00

第2回目 15:00～16:00

※ 聴講無料、要観覧券

1~45 西ドイツ 45 点

- 1.『第七の封印』1962年/ポスター：フェリー・アーレ
- 2.『昨日からの別れ』1966年/ポスター：フェリー・アーレ
- 3.『突然炎のごとく』1962年/ポスター：ベレ・バツヘム
- 4.『シュペツサルトの森の宿屋』1958年/ポスター：ベレ・バツヘム
- 5.『ドクトル・マブゼ』1963年/ポスター：カール・オスカー・ブラーゼ
- 6.『es』1966年/ポスター：カール・オスカー・ブラーゼ
- 7.『こんなに悪い女とは』1964年/ポスター：ハインツ・エーデルマン
- 8.『イエロー・サブマリン』1968年/ポスター：ハインツ・エーデルマン
- 9.『沈黙』1964年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 10.『裸の拍車』1965年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 11.『夜空に星のあるように』1968年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 12.『野火』1962年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 13.『嘆きの天使』1964年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 14.『のんき大将 脱線の巻』1963年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 15.『七年目の浮気』1966年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 16.『殺人者は我々の中に』1959年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 17.『人間の条件 完結篇』1962年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 18.『ミュリエル』1963年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 19.『荒野の用心棒』1965年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 20.『奥様は魔女』1958年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 21.『不運』1964年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 22.『アントニオ・ダス・モルテス』1970年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 23.『七人の侍』1962年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 24.『スリ』1965年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 25.『アルチバルド・デラクルスの犯罪的人生』1961年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 26.『戦艦ボチヨムキン』1966年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 27.『長距離ランナーの孤独』1966年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 28.『女と男のいる舗道』1970年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 29.『パリはわれらのもの』1968年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 30.『生きるべきか死ぬべきか』1964年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 31.『僕の村は戦場だった』1963年/ポスター：ヤン・レニツァ
- 32.『小さな兵隊』1966年/ポスター：ヤン・レニツァ
- 33.『二十四時間の情事』1960年/ポスター：エルンスト・リッター
- 34.『大通り』1956年/ポスター：マリー・マルクス
- 35.『紅はこべ』1963年/ポスター：ミヒエル+キーザー
- 36.『極楽発展倶楽部』1965年/ポスター：ミヒエル+キーザー
- 37.『どん底』1959年/ポスター：イゾルデ・モンソン＝バウムガルト
- 38.『5時から7時までのクレオ』1967年/ポスター：イゾルデ・モンソン＝バウムガルト
- 39.『たそがれの女心』1960年/ポスター：イゾルデ・モンソン＝バウムガルト
- 40.『アンナ・マグダレーナ・バッハの日記』1969年/ポスター：イゾルデ・モンソン＝バウムガルト
- 41.『天井桟敷の人々』1964年/ポスター：イゾルデ・モンソン＝バウムガルト
- 42.『カプリオーレン』1963年/ポスター：ヴォルフガング・シュミット
- 43.『M』1966年/ポスター：ヴォルフガング・シュミット
- 44.『危機や大いなる困窮において中道は死をもたらす』1974年/ポスター：マルグリット&ペーター・ズィッケルト
- 45.『RADIO ON』1980年/ポスター：マルグリット&ペーター・ズィッケルト

46~85 東ドイツ 40 点

- 46.『もぐらくんのおえかき』1976年/ポスター：シュテッフィ・ブルーム
- 47.『ジプシーは空にさえる』1977年/ポスター：ヘルムート・ブラーデ
- 48.『イノセント』1978年/ポスター：ヘルムート・ブラーデ
- 49.『蠅の死』1977(1978)年/ポスター：ゲルノート・ブランド
- 50.『作業班長のヘルメット』1985(1986)年/ポスター：ゲルノート・ブランド
- 51.『テレサの肖像』1981年/ポスター：ゲルダ・ダツシク
- 52.『執炎』1969年/ポスター：ハインツ・エーベル
- 53.『白い霧』1979年/ポスター：ハインツ・エーベル
- 54.『三銃士』1977年/ポスター：クリストフ・エーベツツ
- 55.『アナラという町』1979年/ポスター：クリストフ・エーベツツ
- 56.『女相続人たち』1981年/ポスター：アンネリーゼ・エルンスト
- 57.『サボテン』1989年/ポスター：アンネリーゼ&ハンス＝エーベルハルト・エルンスト
- 58.『サボテン・ブラザーズ』1990年/ポスター：クラウス・フィンガー
- 59.『宝探し』1979年/ポスター：エアハルト・グリユットナー
- 60.『屋根にはただ花を置いて』1979年/ポスター：エアハルト・グリユットナー
- 61.『ジャンヌ・モローの思春期』1981年/ポスター：エアハルト・グリユットナー
- 62.『カップルでいる方法』1981年/ポスター：エアハルト・グリユットナー
- 63.『破損』1988年/ポスター：エアハルト・グリユットナー
- 64.『死が汝らを分かちまで』1979年/ポスター：ハインツ・ハントシク
- 65.『ついて来い、追いつくから』1980年/ポスター：ハインツ・ハントシク
- 66.『蛇の卵』1979(1980)年/ポスター：オットー・クンメルト
- 67.『ヴェルコの娘たち』1980年/ポスター：オットー・クンメルト
- 68.『カンボジア、その死と復活』1980年/ポスター：オットー・クンメルト
- 69.『あの春太陽は出なかった』1985年/ポスター：オットー・クンメルト
- 70.『さよなら子供たち』1989年/ポスター：オットー・クンメルト
- 71.『ときどきおかしな幸運児』1978年/ポスター：エーベルハルト・レンク
- 72.『走れ、ウェイター！』1981年/ポスター：ゲルハルト・ラップス
- 73.『メン・イベント』1980年/ポスター：ゲルハルト・ラップス
- 74.『カリフォルニア・スイート』1980年/ポスター：マルリース・シュレーゲル
- 75.『アトランティスへの途上』1976(1977)年/ポスター：レギーネ・シュルツ&ブルクハルト・ラボフスキ
- 76.『隠れ家』1978年/ポスター：レギーネ・シュルツ&ブルクハルト・ラボフスキ
- 77.『スタートレック』1985年/ポスター：レギーネ・シュルツ&ブルクハルト・ラボフスキ
- 78.『ぼくの伯父さんの休暇』1978年/ポスター：アルブレヒト・フォン・ボデカー
- 79.『チンボラソ山登頂』1989年/ポスター：アルブレヒト・フォン・ボデカー
- 80.『ゾリン大佐の報告』1979年/ポスター：ヘルムート・ヴェンクラー
- 81.『女優』1988年/ポスター：ヘルムート・ヴェンクラー
- 82.『メフィスト』1981年/ポスター：ホルスト・ヴェスラー
- 83.『女と男の名誉』1987年/ポスター：ギゼラ・ヴォンゲル
- 84.『アムステルダム無情』1989年/ポスター：ギゼラ・ヴォンゲル
- 85.『星の王子 ニューヨークへ行く』1990年/ポスター：ギゼラ・ヴォンゲル

開催概要

展覧会名	戦後ドイツの映画ポスター Postwar German Posters for Films
	主催：京都国立近代美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター 後援：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館 協力：ドイツ映画研究所（DIF）、サントリーホールディングス株式会社、 Goethe-Institut／ドイツ文化センター
会期	2017年4月19日（水）－6月11日（日）
休館日	毎週月曜日
開館時間	午前9時30分－午後5時（入室は閉館の30分前まで）
会場	京都国立近代美術館4館コレクション・ギャラリー
アクセス	市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ 市バス「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分 市バス「東山二条 岡崎公園口」下車徒歩約10分 地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約10分
料金	一般430（220）円／大学生130（70）円／高校生以下及び18歳未満、65歳以上の方、心身に障がいのある方と付添者1名は無料 *本料金でコレクション展の一部で開催。 *（ ）内は20名以上の団体料金です。 *学生、障がい者等の方はそれぞれ入館の際、証明できるものをご提示ください。
お問合せ	075-761-4111（代表） 075-761-9900（テレホンサービス）
HP	http://www.momak.go.jp/Japanese/exhibitionArchive/2017/419.html
イベント	○4/23（日）ライブイベント ○5/12（金）～5/14（日）映画上映会 ○5/13（土）講演会 ○5/28（日）ギャラリートーク

【掲載に関するお問合せ】

京都国立近代美術館 総務課事業係

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町

TEL: 075-761-4115 FAX: 075-771-5792

Email: jigyous@ma7.momak.go.jp

作品画像データ & 読者プレゼント招待券申込書 「戦後ドイツの映画ポスター」

お名前： _____ ご所属・媒体名： _____

出版物・放送番組名： _____

TEL： _____ FAX： _____

メールアドレス： _____

* 広報用画像はリリースに掲載している全ての画像です。希望データの口チェックをつけてください

①	『ミュリエル』(1963年/フランス/アラン・レネ監督) ポスター：ハンス・ヒルマン (1963年) サントリーポスターコレクション (大阪新美術館建設準備室寄託)	西
②	『昨日からの別れ』(1966年/西ドイツ/アレクサンダー・クルーゲ監督) ポスター：フェリー・アーレ (1966年) ドイツ映画研究所所蔵	西
③	『M』(1931年/ドイツ/フリッツ・ラング監督) ポスター：ヴォルフガング・シュミット (1966年) ドイツ映画研究所所蔵	西
④	『三銃士』(1974年/フランス/アンドレ・ユヌベル監督) ポスター：クリストフ・エーベツ (1977年) サントリーポスターコレクション (大阪新美術館建設準備室寄託)	東
⑤	『メフィスト』(1981年/ハンガリー/サボー・イシュトヴァーン監督) ポスター：ホルスト・ヴェスラー (1981年) フィルムセンター所蔵	東
⑥	『ジプシーは空にきえる』(1976年/ソビエト/エミーリ・ロチャヌー監督) ポスター：ヘルムート・ブラーデ (1977年) サントリーポスターコレクション (大阪新美術館建設準備室寄託)	東
⑦	『七年目の浮気』(1955年/アメリカ/ビリー・ワイルダー監督) ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ (1966年) サントリーポスターコレクション (大阪新美術館建設準備室寄託)	西
⑧	『七人の侍』(1954年/日本/黒澤明監督) ポスター：ハンス・ヒルマン (1962年) ドイツ映画研究所所蔵	西
⑨	『ジャンヌ・モローの思春期』(1979年/フランス＝西ドイツ/ジャンヌ・モロー監督) ポスター：エアハルト・グリェットナー (1981年) フィルムセンター所蔵	東
⑩	『さよなら子供たち』(1987年/フランス＝西ドイツ/ルイ・マル監督) ポスター：オットー・クンメルト (1989年) サントリーポスターコレクション (大阪新美術館建設準備室寄託)	東

読者プレゼント招待券	組 名 (合計 枚) 希望します ※5組10名様を基本に提供いたします。
------------	---

プレス・イメージ貸出条件

1. 画像は、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。
2. データを第三者に渡すことは禁じます。使用后、画像データは消去してください。
3. 展覧会の名称、期間、会場は、適切な場所、大きさと明示していただくようお願いいたします。
4. 作品画像は全図で使用してください。部分使用やトリミング、作品に文字を重ねることはできません。
5. 画像を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載ください。
6. 掲載紙(誌)は、1部、事業係宛にご寄贈ください。web サイトの場合は、掲載時にお知らせください。
7. 掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。